

みずほCustomer Desk Report 2022/04/25号(As of 2022/04/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	128.66
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	128.44	1.0833	139.18	1.3024	0.7361
SYD-NY High	129.11	1.0851	139.48	1.3033	0.7377
SYD-NY Low	127.74	1.0771	138.33	1.2823	0.7235
NY 5:00 PM	128.50	1.0810	138.87	1.2840	0.7244

NY DOW	33,811.40	▲ 981.36	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	12,839.29	▲ 335.36	日本10年債	0.2400	▲1.00bp
S&P	4,271.78	▲ 121.88	米国2年債	2.6767	0.48bp
日経平均	27,105.26	▲ 447.80	米国5年債	2.9393	▲2.27bp
TOPIX	1,905.15	▲ 22.85	米国10年債	2.9035	▲0.21bp
シカゴ日経先物	26,790.00	▲ 395.00	独10年債	0.9600	3.75bp
ロンドンFT	7,521.68	▲ 106.27	英10年債	1.9635	▲4.95bp
DAX	14,142.09	▲ 360.32	豪10年債	3.1410	7.30bp
ハンセン指数	20,638.52	▲ 43.70	USDJPY 1M Vol	10.63	0.13%
上海総合	3,086.92	7.11	USDJPY 3M Vol	10.13	0.20%
NY金	1,934.30	▲ 13.90	USDJPY 6M Vol	9.69	0.14%
WTI	102.07	▲ 1.72	USDJPY 1M 25RR	0.00	Yen Put Over
CRB指数	304.23	▲ 4.98	EURJPY 3M Vol	10.40	0.20%
ドルインデックス	101.22	0.64	EURJPY 6M Vol	10.18	0.18%

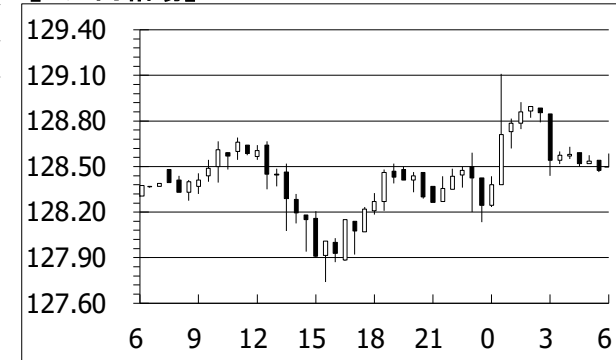
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月22日	08:30	日	全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	3月 1.2%/0.8%/-0.7% 1.2%/0.8%/-0.8%
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	3月 -1.1%/-0.6% -0.4%/0.8%
	17:00	欧	製造業PMI/サービス業PMI・速報	4月 55.3/57.7 54.9/55.0
	22:00	欧	ラガルドECB総裁・発言	年内の利上げ示唆も具体的な内容は言及せず
	22:45	米	製造業PMI/サービス業PMI・速報	4月 59.7/54.7 58.0/58.0
	23:00	英	ペイリーBOE総裁・発言	インフレ対応と景気後退回避で難しい局面

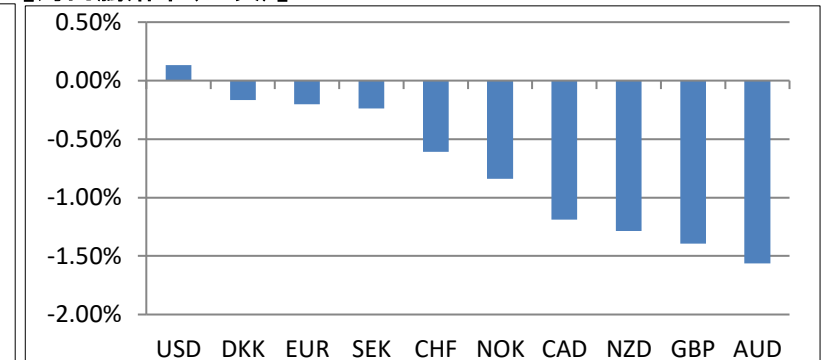
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月25日	14:00	日	景気一致指数・確報	2月 - 95.5
	17:00	独	IFO企業景況感指数	4月 89.0 90.8
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	3月 0.45 0.51

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.80-129.50	1.0750-1.0900	138.00-140.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の東京時間のドル円は128.44レベルでオープン。日米財務相会談にて協調介入の報道が伝わると、ドル円は128円割れまで下落し海外時間に渡った。海外時間に入り、黒田日銀総裁が「円安でも積極的な金融緩和を継続する必要」とのヘッドラインが伝わり日銀の緩和姿勢継続が確認されると129.11まで上昇。しかし、黒田総裁が円に言及していなかったと報道が訂正されたこと、米株の大幅下落や米金利の低下を背景に、ドル円も128.50付近まで下落すると同レベルでクローズした。

本日のドル円は底堅い推移を予想する。先週の米FRB高官のタカ派的な姿勢と日銀の明確な金融緩和継続姿勢はドル円の上昇要因となることを予想。本日は注目材料に乏しい中、米FRBの金融引き締め加速が警戒され、米株が先週金曜日に大幅下落となったことを受けて、本日も株価が乱高下する可能性があり、動向に注意したい。

東京	東京時間のドル円は128.44レベルでオープン。前日の米長期金利上昇を背景とした地合いを引き継ぎ、東京朝方からドル買い優勢となり一時128.69まで上昇するも、前日高値70を前に上値に重さを確認すると売り優勢の展開に。また、日米財務相会談において協調介入が議論されたことなどが報じられると128円を割り込み127.74まで下落。一服後は小幅反発し128.00レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は128.00レベルでオープンし、米長期金利の上下動を眺めた値動きが先行した。値幅は約80銭となり比較的大きかったものの、新規注目材料に欠けるなか、方向感が出づらいつ展開となり、128.27レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	128.27レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けてじり安推移となり、128.14まで下押しするも、その後、「黒田日銀総裁：円下落でも積極的な金融緩和継続する必要」とのヘッドラインが伝わるとドル買い円売りが急速に強まり、一時129.11まで上昇。しかしその後、先述のヘッドラインを巡り、黒田日銀総裁が円に言及していなかったと報道が訂正されたほか、米株の下げ幅拡大や米短期金利の低下が重しとなり、128.50近辺まで反落。終盤は小動きとなり、128.50レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、1.0822レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けて1.0845まで上昇するも、米株の下げ幅拡大がリスク回避のドル買いを誘っており、その後は売りに転じ、安値を1.0771まで更新。午後は週末前でユーロショートの手仕舞いが進み、1.0800付近までじりじりと回復。結局、1.0810レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・松木